



図書館だより 7月

四日市メリノール学院図書館

あと数日で、夏休みが始まります。東京オリンピックも開催されます。しかし、新型コロナウイルス感染症の心配もあり、心の底から楽しむという気分になれない状況でもあります。Sr.渡辺和子の著書に『置かれた場所で咲きなさい』があります。「今、自分の置かれた状況の中でできることを精一杯頑張りましょう」という内容の本ですが、みんな一人ひとりがその気持ちを持ってこの夏を過ごせると良いですね。

高校3年生は、いよいよ進路についての話合いが本格的になりますね。また、1.2年生はこの夏休みを使って、進路や大学・専門学校を調べてみてはどうでしょうか？図書館の入り口にある進路のチラシにも気を留めてみてくださいね。

夏休み中も図書館は開いています。進路に関する本だけでなく、教養を深めるため、心を豊かにしてくれる本を探して読んでみましょう。

今月のおススメ

近年、日本全国で私たちの想像を超える降水量やそれに伴う河川の氾濫、土砂災害はんらんが起きています。今年もすでに伊豆や島根、鹿児島などで災害がおきました。幸い、私たちの住む地域では大きな被害を受けていませんが、他人事とらと捉えずもしもの時に備えての心構えそなも大切です。そこで今回紹介するのは、命を守るための防災の本です。全3巻のうち、1巻は自分や家族を守るための備えじじょ（自助）について、2巻では起きた災害被害を拡大させないための知恵げんさい（減災）、3巻ではいざ避難生活が始まった時に、知らない人との共同生活をどう過ごすか、また復興きょうじょに向け参考になる内容（共助）が書かれています。一度、図書館にあるので手に取ってみてください。



『「もしも」にそなえて「今」できること

命をつなぐ防災』

ふなき のぶえ

船木 伸江/監修

偕成社/刊